

2018原水爆禁止国民平和一大行進(栃木・埼玉引継式)

7月14日、平和一大行進は栃木から埼玉に引継が行われました。当日は、利根川左岸(栃木側)で出発集会を行い、利根川橋を渡って埼玉に入りました。出発集会では栃木県南の各コースでの報告があり、栃木県内15日間の平和行進が終了しました。



出発集会

栃木県労連の佐藤副議長(全労働)さんや県南地域(足利、佐野、小山など)の7コースの報告がされました。



利根川橋を行進中

利根川橋行進中、通過する車に手を振ってアピール。奥には利根川上流河川事務所の鉄塔が見えます。旧利根川橋は既に撤去され、上下流に新橋が架設されました。



栃木からの参加者

栃木からは25名が埼玉との引継集会場所の仮移設された栗橋関所址碑前まで行進しました。



通し行進者の栖原さん(左)と埼玉原水協の伊藤さん

栖原さんからは「栃木の皆さん15日間ありがとう！埼玉の皆さん、よろしく」と挨拶があり、埼玉原水協の伊藤さん(埼労連議長)からは「核兵器廃絶まで歩こう！」と訴えました。



リレー旗の引継

宇都宮国道分会の山崎さんから大宮国道分会の鶴巻さんへリレー旗が引き継がれました。



栗橋関所址碑

日光道中唯一の関所で、明治2年に廃止され、大正13年に利根川橋の開通を記念し「栗橋関所址」碑が建てられ、利根川堤防強化事業の範囲内のため、ここに仮移転しています。